

名古屋市立大学寄附講座(近世名古屋学)公開講座
豊臣秀吉と秀長 ―夢と希望の下剋上サクセスストーリー―

本日は名古屋市立大学寄附講座(近世名古屋学)公開講座に
お越しいただき、誠にありがとうございます。

ご感想・ご意見をお寄せいただけますと幸いです。
下記アンケートフォームよりご協力をお願いいたします。

【参加者アンケート】



今後の開催情報については、
名古屋市立大学ホームページからご確認いただけます。

プログラム

開会 14時から

開会挨拶 名古屋市立大学 学長 浅井 清文

第1部 14:05 ～ 講演「秀吉と秀長 ―最新成果から読み直す豊臣の城の歴史的意義―」



千田嘉博 名古屋市立大学教授

愛知県出身。
1986年奈良大学文学部文化財学科卒業、同年より名古屋市見晴台考古資料館学芸員として従事する。2009年に奈良大学文学部文化財学科教授、2014年～2016年に奈良大学学長を歴任し、2016年にNHK大河ドラマ「真田丸」の真田丸城郭考証を務める。研究テーマは「城から歴史を解明するだけでなく、市民とともにいかに保存・活用していくかを考察」すること。
2023年9月より、名古屋市立大学教授(近世名古屋学)に着任。

第2部 15:35 ～ 対談「豊臣秀吉と秀長 ―夢と希望の下剋上サクセスストーリー―」



広沢一郎 名古屋市長

昭和61年3月 慶應義塾大学経済学部 卒業、昭和61年4月 プラザー工業株式会社 入社、平成9年3月 伊藤忠商事株式会社 入社、平成10年4月 株式会社マグノリア代表取締役、平成10年4月 株式会社アイマジック取締役、平成17年3月 キングソフト株式会社代表取締役、平成23年4月 愛知県議会議員、平成29年12月 名古屋市副市長 就任、令和3年12月 株式会社マグノリア代表取締役、令和6年11月 名古屋市長 就任



松川博敬 大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)制作統括

1976年京都生まれ。東京大学文学部卒業後、1999年NHK入局。芸能番組部に配属となり「爆笑オンエアバトル」「ポップジャム」「紅白歌合戦」などの制作に携わる。2005年ドラマ部に異動。現在まで20年間ドラマ制作の仕事が続いている。主な演出作品として連続テレビ小説「純情きらり」「カーネーション」大河ドラマ「篤姫」など。プロデューサーに転向後は大河ドラマ「おんな城主直虎」連続テレビ小説「らんまん」などを制作。来年放送の大河ドラマ「豊臣兄弟!」を手がける。



宮國愛梨 テレビ局キャスター

1998年9月福岡生まれ、名古屋育ち。小学三年生から大学まで名古屋で過ごす。大学卒業後、日本道路交通情報センターにて三年間交通情報放送を担当した。P-1グランプリ(プリンNo.1)イベントMC、北陸新幹線敦賀延伸 嶺南観光誘致 青々吉日 CMや福井県若者情報発信局FWI CMのメインキャスト及びナレーション、福井県のエリア情報誌URALAやフリーペーパーPALETの表紙モデルを務めるなどその活動は多岐にわたる。現在はテレビ局キャスターとして活動中。

進行役

千田嘉博 名古屋市立大学教授

※時間や内容については、都合により変更することがあります。



豊臣兄弟！ 名古屋中村 大河ドラマ館

この地から、

ふたりの夢が甦る。

令和8年1月24日(土)開館

- 開館期間** 令和8年1月24日(土)～令和9年1月11日(月)
開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)
休館日 原則無休(主催者等の都合で変更となる可能性あり)
開催場所 名古屋市・中村区 中村公園「豊臣ミュージアム」内
アクセス 地下鉄東山線「中村公園」駅3番出口より北へ徒歩約10分

入館料	大人 (高校生以上)	小人 (小中学生)
	前売券 640円 当日券 800円 団体(20名以上) 640円 年間パスポート 2,500円	320円 400円 320円 1,300円

【特設サイト】



名古屋市博物館のロゴ・シンボルマークが完成しました

○これからリニューアルに向けて活用していきます。



シンボルマークは、博物館の特徴的な建築デザインと「NAGOYA CITY MUSEUM」の頭文字である「NCM」を融合させたものです。ロゴタイプはシンボルマークが持つ角度や形状から組み立て、新たに生み出した書体です。

データベースに秀吉清正記念館が加わりました

○名古屋市博物館収蔵品データベースに秀吉清正記念館収蔵品のデータ（410件）が新たに加わりました。博物館の収蔵品とあわせてご活用ください。



名古屋市博物館資料図版目録11

『絞り染めコレクション 有松・鳴海絞りと日本の絞り』

○有松・鳴海絞りを中心とする近代の絞り染め製品 160点をまとめた1冊です。すべての資料をカラー図版で紹介し、あわせて絞り染め技法一覧やコレクションについての解説を掲載しています。A4判 112頁、価格 1,100円（税込）。通信販売等の購入方法は公式サイトをご覧ください。



よみがえれ文化財・みんなの博物館応援事業

○博物館・分館が所蔵する資料を修復・活用するために広く寄附を募っています。これまでに美術品や古文書の修復、出土遺物の保存処理、写真資料のデジタル化などを行ってきました。ふるさと納税制度を利用した寄附です。みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



休館中の活動およびリニューアル情報はこちらから

公式サイトURL <https://www.museum.city.nagoya.jp/>



公式サイト



■ 博物館 利用 案内 ■

名古屋市博物館は昭和52年(1977)に開館した歴史系の総合博物館です。

ただいまリニューアル工事のため、長期休館中です。

令和8年(2026)、プレオープン！



〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 外観イメージ
電話 052-853-2655(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く 平日8時45分～17時30分)
FAX 052-853-3636

■ 分館 利用 案内 ■

名古屋市蓬左文庫

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001 電話 052-935-2173 FAX 052-935-2174

□開館時間 【展示室】10時～17時(入室は16時30分まで)
【閲覧室】開架図書:9時30分～17時
閉架図書:9時30分～12時、13時～17時

□休館日 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)
特別整理・年末年始休館(12月15日～1月3日)

□観覧料 一般 1600円 高大生800円 小中生500円(徳川美術館と共通)
※ただし、閲覧室は入室無料

□交通 【名古屋駅より】
市バス基幹バス2号系統・名鉄バス(栄経由)
「徳川園新出来」下車、徒歩3分
【なごや観光ルートバス メーグル】
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ
【大曽根駅より】
JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分



名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053 名古屋市中村区中村町茶ノ木25(中村公園文化プラザ2階)

電話 052-411-0035 FAX 052-411-9987

□開館時間 9時30分～17時
毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)
□休館日 毎月第4火曜日(祝日を除く)
館内点検休館(11月10日～11月25日)
年末年始休館(12月29日～1月3日)

□観覧料 無料

□交通 【名古屋駅より】
地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分
市バス名駅25系統・中村巡回「豊国神社」下車、徒歩2分



2025.4-2026.3

名古屋市蓬左文庫
名古屋市秀吉清正記念館
名古屋市博物館 (長期休館中)



蓬左文庫展示室

※年間を通じて、展覧会名・内容・作品・展示替え期間、入館方法などに変更する場合があります。
公式サイトなどで必ずご確認ください。

4/12(土)～6/8(日)

企画展 千代姫の華麗なる生涯

将軍家との橋渡し役となり、尾張徳川家の繁栄の基礎を築いた千代姫の生涯を振り返ります。



重要文化財 純金香盆飾り 千代姫所用
徳川美術館蔵

徳川美術館 本館展示室

徳川美術館開館90周年記念 特別展 国宝 初音の調度



国宝
初音繪文台・硯箱(部分)
千代姫所用
徳川美術館蔵

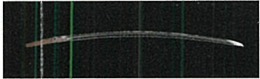
6/14(土)～9/7(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館90周年記念 夏季特別展 時をかける名刀

大名・尾張徳川家に伝来した名刀のなかには、複数の天下人の手を渡り、戦乱をくぐり抜けてきたという輝かしいエピソードを持つ刀剣や、戦功や慶事の祝儀に贈られたという縁起の良いエピソードを持つ刀剣が数多くあります。刀剣の価値・重要性は、こうした由緒によって高められていきました。
本展では徳川美術館の所蔵刀剣・刀装を軸として、歴史に名を馳せた武将や大名ら由縁の品々を展示し、歴史的背景の面白さと、作品そのものの美しさの両側面から、刀剣の奥深い魅力を紹介します。



重要文化財 刀 銘 本作長義…(以下略)
徳川美術館蔵



重要文化財 刀 銘 九州日向国広作
天正十八年庚子武月吉日平親長(号 山姥切)
公益財団法人 足利市民文化財団蔵

徳川美術館・蓬左文庫開館90周年記念 夏季特別展 時をかける名刀



本作長義×山姥切国広
同時公開企画「伯仲燦然」
6/14(土)～7/27(日)
※上記日程の土日祝日の来館には、
オンラインでの事前予約が必要です。

9/13(土)～11/9(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館90周年記念 秋季特別展 尾張徳川家 名品のすべて

昭和10年(1935)、徳川美術館は名古屋で開館し、蓬左文庫は東京目白の尾張徳川家邸内に開館ののち、同25年に名古屋市に移管されました。ともに御三家筆頭であった尾張徳川家の収蔵品を守り伝える施設として、活動を続けています。



重要文化財
紫地雲紋付袴の集文辻ヶ花染羽織(部分)
徳川美術館蔵

徳川美術館・蓬左文庫開館90周年記念 秋季特別展 尾張徳川家 名品のすべて

11/15(土)～12/14(日)

企画展 徳川林政史研究所連携企画 尾張家臣団

尾張徳川家をささえた家臣たちにスポットを当てて、彼らにまつわる歴史資料をもとにその実像に迫ります。



尾張家臣双六(部分)
徳川慶蔵(尾張家13代)筆 徳川美術館蔵

徳川美術館・尾張徳川家開館90周年記念 特別展 国宝 源氏物語絵巻

11/15(土)～12/7(日)

国宝 源氏物語絵巻 柏木(三)
徳川美術館蔵

1/4(日)～2/1(日)

企画展 日本の神々 降臨

神の鎮座地や祀る人々、そしてさまざまな祭りに注目し、日本人と神との関係をひもときます。



日光東照宮祭礼図巻(部分)
徳川美術館蔵

2/7(土)～4/5(日)

企画展 金沢文庫・蓬左文庫交流展 金沢文庫本一流離う本の物語ー

日本が世界に誇る古典籍「金沢文庫本」を有する金沢文庫と蓬左文庫両館が連携し、蔵書を守り伝えてきたあゆみを紹介します。



国宝 北条実時像(部分)
称名寺蔵
(神奈川県立金沢文庫保管)

特別展 尾張徳川家の 雛まつり



有職雛(東帯室)
貞徳院矩矩
(尾張徳川家14代慶勝正室)所用
徳川美術館蔵

秀吉清正記念館展示室

～5/6(火・振休)

パネル展 清正伝説と信仰

秀吉配下の武将で肥後国(熊本県)の領主にもなった加藤清正。史実と伝説とが織りなして今に受け継がれている清正への思いを紹介します。



妙行寺清正公堂(名古屋市市中村区)

5/24(土)～7/6(日)

特集展示 武者絵の中の秀吉・清正

江戸時代から明治にかけて、たくさんの合戦シーンの想像図が色鮮やかに表現されました。現代の秀吉・清正イメージにつながる躍動感ある姿を紹介します。



太閤記山崎合戦ノ図 楊州周延画 秀吉清正記念館蔵

7/19(土)～9/23(火・祝)

パネル展 絵本太閤記の今を訪ねる

秀吉の出世物語を江戸時代の庶民に浸透させた『絵本太閤記』。秀吉生誕から信長の岐阜入城までの物語となった舞台の現在を、挿絵と並べて紹介します。



墨俣城模範天守(岐阜県大垣市)

10/4(土)～1/12(月・祝)

パネル展 秀吉・秀長の駆けた古戦場

前編 10/4(土)～11/9(日)
後編 12/6(土)～1/12(月・祝)

秀吉・秀長の兄弟主従は、時に共に戦い、また時に秀長が兄の代理として戦地に赴いたりもしました。西に東に、兄弟が戦った地を紹介します。

※臨時休館 11/10(月)～11/25(火)



賤ヶ岳古戦場(滋賀県長浜市)

1/17(土)～3/1(日)

特別陳列 長篠合戦 三英傑は共に戦った



火縄銃 国友重光作 秀吉清正記念館蔵

強力な武田軍が大量の火縄銃に破れたことで有名な「長篠・設楽原の戦い」。実は信長・秀吉・家康が勢ぞろいした合戦でした。その詳細を紹介します。

3/14(土)～5/6(水・振休)

パネル展 清正 秀吉を支え続けた武将

秀吉の親戚ともみられる清正は、少年のころから秀吉に仕え、粉骨砕身し続けた家臣でした。



熊本城前の加藤清正像

秀吉死後も遺児秀頼を見守りつつ亡くなった生涯を紹介します。

歴史体験キット 貸出返却対応：平日9:00～17:00

「組紐づくり」(1回の申し込みにつき5セットまで)

千年以上の歴史を持つ伝統工芸品「組紐」を作ってみませんか。丸台と、糸がセットされた組紐が入っており、ご自宅ですぐ始められるキットです。
申込期間：利用希望日の2ヶ月前～1週間前(先着順)
貸出期間：2週間
貸出料金：500円(税込)



「夏休みのチャレンジ! くみひもづくり」

小中学生を対象とした、くみひもを作るキットです。
申込期間：2025年7月1日(火)～(先着順、定員になり次第終了)
貸出期間：7月17日(木)～9月3日(水)のうちの13日間
貸出料金：500円(税込)



はくぶつかん講座 原則として聴講無料ですが、会場によって観覧料などが必要となる場合があります。

学芸員が講師をつとめる講座を、館外のいろいろな社会教育施設等と連携して企画しています。
各回の期日・会場・演題・応募方法などは順次、公式サイトに掲載します。

歴史体験セミナー

大人のための「組紐づくり」(要事前申込)

学芸員の解説付きで平組紐づくりを体験できるセミナーです。
2025年8月21日(木)
①10:00～11:30 ②14:00～15:30 定員各回先着10名
会場：名古屋市博物館 仮事務所(公共交通機関をご利用ください)
申込方法：名古屋市電子申請サービス
(<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>)

申込期間：7月28日(月)～8月19日(火)

参加費：500円(税込)

*参加にあたり障害等により特別な配慮が必要な方は、申し込み時にご記載ください。

*いずれも詳しくは公式サイトをご確認ください。

なごやのうつりかわり (於：名古屋市美術館)

小学校3年生の社会科単元に対応した事業です。「電化前の暮らし」「電化後の暮らし」を通じて暮らしのうつりかわりを体験できます。会場は名古屋市美術館(中区栄 2-17-25、白川公園内)です。

一般の方は 2026 年 1 月 17 日(土)

～3月8日(日)の土日、および2月11日(水・祝)、23日(月・祝)にご利用いただけます。あわせてデジタル教材「なごやのうつりかわり」もご利用ください。



2024年度会場風景



デジタル教材「なごやのうつりかわり」